

特集

世界に安全と安心を届ける品質

日東工業では「品質の良いものをつくりたい」という創業者の熱い想いととも、常にお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけ、「品質第一」「顧客満足」を目指してきました。この揺るぎない品質へのこだわりを現場で具現化してきたのが、1985年から続くQCサークル/小集団活動です。

国内外に広がる活動のネットワーク

QCサークル活動は当社の枠を超え、国内外のグループ会社へと広く浸透しています。言葉や文化の壁を越え、共通の改善手法「QCストーリー」を用いることで、世界中どこで生産しても変わらない「日東工業品質」を追求しています。

国境を越えて、世界中の現場から集まる改善の知恵、この広大なネットワークこそが当社グループの品質を支える強みの源泉です。QCサークル/小集団活動の登録サークル数は増加しており、2025年11月現在の登録数は255サークルとなりました。

私たちはこれからも高品質な製品とサービスを通じて、世界中のお客様へ安全と安心をお届けするとともに、この改善のサイクルを次世代へとつなぎ、グループ一体となってさらなる高みを目指してまいります。

●QCサークル/小集団活動の登録サークル数

日東工業(単体)	199サークル
国内グループ会社	34サークル
海外グループ会社	22サークル
合計	255サークル



●QCサークル/小集団活動の登録サークル所在地



●海外グループ会社の発表事例



日東工業(中国)の発表資料より抜粋



特集

世界に安全と安心を届ける品質

QCサークル大会の開催

毎年開催されるQCサークル大会は、当社グループ全体の頂点を決める晴れ舞台です。厳しい予選を勝ち抜いたサークルが、自分たちの知恵と努力の結晶である改善成果を、堂々と発表します。大舞台で自らの成果を発表し、認められる経験は、メンバー一人ひとりの確かな自信と誇りにつながっています。

●2025年度のQCサークル大会

選抜された計7サークルがその成果を披露し、特に優れた活動に対して社長賞が授与されました。

2025年度 社長賞受賞サークルの発表 (抜粋)



〈サークルリーダーコメント〉

過去に改善が断念され、当たり前となっていた割れ不良に対し、メンバーの「絶対に割れ不良を無くしたい」という思いで改善を開始しました。他部署と連携しPDCAを何回も繰り返し改善を試みた結果、約10%の不良率を0%に改善しました。諦めそうな局面もありましたが、メンバー全員一丸となり最後まで諦めず最善を尽くしたことが、今回の成果につながりました。今後も何事にも諦めずメンバー全員で挑戦し続けていきます。

磐田工場 加茂 智昭氏

●集合形式での開催

当社グループのQCサークル大会は、3年に一度グループ全体が一堂に会する集合形式で開催しています。通常はWeb会議システムを活用して実施していますが、集合形式では数百名規模の従業員や経営層、さらには日頃から連携を深める取引先の皆様が見守る中、対面形式での発表に臨みます。

2026年度はこの集合形式での開催年にあたり、大勢の観衆を前に自らの成果を発表する経験は、Web開催とは一線を画す緊張感とともに、成長と達成感をメンバーに与える機会となりました。

次世代リーダーの育成

当社グループでは、QCサークル/小集団活動を単なる改善の場ではなく、将来のリーダーに必要な素養を磨く大切な人財育成の場とも考えています。リーダーの経験を通じて、若い世代が自分の成長に手ごたえを感じることが、当社グループの持続的な成長につながります。

マネジメントの基礎を体感

リーダーや次期リーダー候補は、3年間の育成計画に基づき、サークルの目標管理やメンバー間のコミュニケーションを実務を通じて学びます。若いうちに小集団を率いる経験は、将来の組織運営に欠かせないマネジメント力の基盤になります。

「三現主義」による解決力の習得

三現主義（現場・現物・現実）に基づき、データを客観的に分析して課題を解決する手法を身につけます。この論理的な思考力は、どのような職場に置かれても自ら考え、行動できる「自律型人財」の強みとなります。

「働きがい」を支えるリーダーシップ

メンバーの成長を支え、意見を出し合いやすい環境を整える経験が、グループ全体のエンゲージメントを高める力につながっています。

●育成サイクル



1. 任命と計画

係長が推薦し、部課長が任命する。部課長はリーダー育成に努め、係長はサークルリーダーと次期リーダー候補の育成計画を作成する



2. 現場での実践

会合の運営や、三現主義による分析を体験し、サークルをまとめて課題を解決する力を実地で学ぶ



3. 将来の基盤へ

成功体験を自信に変え、自ら変化を起こせる自律型人財を目指す